

第 179 号 内容紹介

1, 栗田禎子「アサド政権崩壊のシリア情勢をどう捉えるか」

「民主化への期待」も事実だが、「独裁体制の崩壊と民主化の始まり」として単純化することのできない面があることも指摘しておかねばならない。

2, ヘグセス米国防長官「ウクライナ領土回復は非現実的」

ロシアとの和平交渉開始に踏み出したトランプ米政権。新任の国防長官は、ウクライナの NATO 加盟と領土回復の要求は非現実的だとして支持しない考えを表明、ロシアの要求を基本的に受け入れる姿勢を強調した。

3, デザヤス「ジェノサイド・ファイル」

ガザ大虐殺への支援を当然のごとくすすめたアメリカ。起源は「明白な使命」と称して先住民絶滅を強行した歴史とつながっている。国連報告官も務めた国際法と人権のエキスパートによる歴史の省察。

4. ディヤスカネル「トランプ政権の攻撃とどうたたかうか」

アメリカの足元カリブ海地域で自主的な国づくりを目指す諸国でつくる ALBA=TCP の臨時首脳会議でのキューバ大統領の演説は、「団結と統合、対話」の対応を強調している。

5、C・ヘッジス. 「帝国の自壊」

キリスト教原理主義ファシストと億万長者たちに食いにされたアメリカ政治は、自らを蝕んで自壊の道を歩んでいる。左派評論家によるトランプ政治をささえる政治の解剖。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news](http://aala_news.livedoo.na) の編集日記 (livedoo.na 愛用紹介 r.jp))